

2007. 5. 18 “道路土工TSによる出来形管理”の試行工事に参加しました。

ニコン・トリンプルは、現在開発中の出来形管理ソフトウェア“LANDRiV”にて試行工事に参加し、「施工管理データを搭載したトータルステーション（TS）を用いた出来形管理要領（試行案）」（道路土工編）に基づく評価試験に合格しました。

【評価試験番号20060007-2】



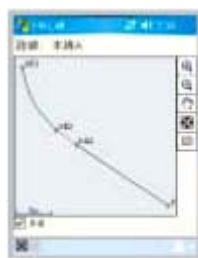
<試行工事 概要>

- ・ 工事名：4号乙畑地区改良工事
- ・ 事務所名：宇都宮国道事務所
- ・ 工期：平成19年1月下旬～平成19年3月下旬（情報化施工実施）
- ・ 内容：「道路土工の出来形管理」

「施工管理データを搭載したトータルステーション（TS）を用いた出来形管理要領（試行案）」（道路土工編）

国土交通省が推進するCALS/ECおよび情報化施工の一環として、道路土工の出来形管理における作業の効率化と、品質の確保を目的に策定されました。この要領では、道路中心線形データ交換標準（案）基本道路中心線形編に沿った、基本設計データを搭載したTSを用い、丁張り設置支援、出来形計測、出来形の監督・検査を実施する作業工程が定められています。

出来形管理ソフトウェア“LANDRiV”のご紹介



基本設計確認(図形)



基本設計確認(要素)



丁張り設置支援



出来形計測点検

<特長>

- 計測の準備作業を軽減するとともに、計測時間を短縮。出来形管理の効率化を実現します。
- 計測から帳票作成まで、一貫したデータ処理により、帳票作成を効率化。データ転記のミスも防止できます。
- 現場で出来形計測値と設計値の比較が可能。出来形不足などの発見や施工へのフィードバックが速やかに行えます。

<主な機能>

- 施工管理データ読み込み機能 ● 任意点での出来形管理機能 ● 管理断面での出来形管理機能
- 監督検査現場立会い確認昨日 ● 基本設計データの確認機能 ● 丁張り設置支援機能
- 出来形計測データの取得漏れ確認機能 ● 施工管理データ書出し機能 など

今後はこれら「出来形管理用TS仕様」をベースに、各種測量計算など様々な機能を追加。  
リリースに向けて開発を進めています。  
さらに将来的には、GPSとの連携なども視野に入れ「総合的な建設施工支援システム」へと進化  
していく計画です。

■この件に関するお問合せ  
株式会社ニコン・トリンプル コンストラクション営業部  
営業推進グループ 菊地  
~~mail : const@nikon-trimble.net~~